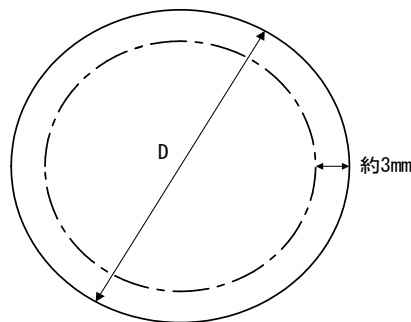


# KMTL-ET/PTS 試験要領書

試験コード	品 種
MR1	炭素鋼・低合金鋼(金属一般)のロックウェル硬さ

1. 試験項目: ブロック試料のロックウェル硬さを測定する。
2. 試験方法: 原則としてJIS Z 2245 Cスケール(HRC)に準拠した方法で試験を行って下さい。  
他の方法で行う場合は、その理由と使用した方法をコメント欄に記載して下さい。  
なお、測定値がJIS Z 2245 Cスケール(HRC)の適用範囲外であってもそのままの値をご報告下さい。
3. 試料と測定方法: ブロック試料は2種類(各1個)同封されています。  
試料のエッジより約3mm入った近傍の円周上5点を測定して下さい。  
(半径方向に硬さの差があるため)



## 4. 結果の報告

試験結果報告用紙(データシート)のエクセルファイルは、下記URLからダウンロードし、測定結果を記入の上、E-mailでお送り下さい。

ファイル名には(7-\*)内に試験所番号を追記願います。

URL: <http://www.kmtl.co.jp/ja/archives/1196>

→ 第2回「金属及びファスナーの引張試験及びロックウェル硬さ試験」

→ 15項の関連文書→試験結果報告書用紙(全試験共通ファイル)

E-mailでの結果送付先は [kmtl-et-pts@kmtl.co.jp](mailto:kmtl-et-pts@kmtl.co.jp) です。

(お申し込み時と同じです)

FAXによる報告書は、受領致しかねます。

個々の測定値の報告桁数は、小数点1桁目までとする。5点の測定値を記入すると平均値が自動で計算されますが、平均値の欄の桁数などを変更しないで下さい。

使用した測定機器名及び測定方法の規格名などを報告して下さい。

(注)・参加者同士の結果に関する情報交換、談合及び改ざん等が認められた場合は欠測値とし、参加費は返却致しません。また、試験片取扱い時の安全には十分ご注意ください。

## 5. 結果送付の締切り期限: 2017年10月5日(木)

(送付期限以降の提出は統計計算から除外致します)

以上